【記載例～古物商新規許可申請（法人）】

別記様式第１号その１（ア）（第１条の３関係）

資料区分	１ １		受理年月日	5.令和	年	月	日
受理警察署		（　　　　署）					
許可証番号			許可年月日	5.令和	年	月	日

古物商 ~~古物市場主~~ 許可申請書

古物営業法第５条第１項の規定により許可を申請します。　**※窓口で提出する時に記載して下さい**

↓

年　　月　　日

佐賀県 公安委員会　殿

申請者の氏名又は名称及び住所

佐賀県佐賀市●●●　〇丁目〇番〇号　株式会社佐賀　　代表取締役　佐賀　太郎

許可の種類	①.古物商　2.古物市場主	
氏名又は名称	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ｻ ｶ ﾞ （漢字）　**株式会社佐賀**　**←漢字部分は登記事項証明書のとおり略さず記載してください**	
法人等の種別	①.株式会社　2.有限会社　3.合名会社　4.合資会社　5.その他法人　6.個人	
生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　昭和 3　平成 4　令和 5　　年　月　日	
住所又は居所	**登記事項証明書のとおり記載する。** **佐賀**　都道府[✓ 県]　**佐賀**　[✓ 市]区町村 **●●●　〇丁目〇番〇号** 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊）	本（国）籍（　　　）
行商をしようとする者であるかどうかの別	①.する　2.しない	
主として取り扱おうとする古物の区分	01 美術品類　02 衣類　03 時計・宝飾品類　[✓ 04] 自動車　05 自動二輪車・原付 06 自転車類　07 写真機類　08 事務機器類　09 機械工具類　10 道具類 11 皮革・ゴム製品類　12 書籍　13 金券類　（いずれか1つに〇を付けること）	

代表者等	種別	①.代表者　2.役員　3.法定代理人	
	氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ｻ ｶ ﾞ　ﾀ ﾛ ｳ （漢字）　**佐賀　太郎**	
	生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　昭和 ③　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日	**法人の場合、代表者をこの欄に記載する。**
	住所	**佐賀**　都道府[✓ 県]　**佐賀**　[✓ 市]区町村 **△△△　〇丁目〇番〇号** 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊）	**※二名代表の場合は古物の申請に関する代表者を選任して下さい。** 本（国）籍（　　　）

記載要領

1　最上段及び太枠右側の細枠内には記載しないこと。

2　不要の文字は、横線で消すこと。

3　数字を付した欄は、該当する数字を〇で囲むこと。

【記載例～古物商新規許可申請（法人）】

別記様式第１号その１（イ）（第１条の３関係）　　　　（　／　）

資料区分	１２		受理年月日	5.令和	年	月	日
受理警察署		（　　　署）	許可の種類	1.古物商　2.古物市場主			
許可証番号			許可年月日	5.令和	年	月	日

代表者等	種別	1.代表者　②.役員　3.法定代理人	
	氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ｶﾝｻﾞ ｼﾞﾛｳ （漢字）**神埼　次郎** **法人の役員は、法人登記簿に記載されている法人役員（監査役も含む）につき記載してください。**	
	生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　昭和 ③　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日	
	住所	**佐賀**　都道府[✓ 県]　**神埼**　[✓ 市]区町村 ●●●　〇丁目〇番〇号 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線＊＊＊）	本（国）籍（　　　）
代表者等	種別	1.代表者　②.役員　3.法定代理人	
	氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ﾄｽ ｻﾌﾞﾛｳ （漢字）**鳥栖　三郎**	
	生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　昭和 ③　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日	
	住所	**佐賀**　都道府[✓ 県]　**鳥栖**　[✓ 市]区町村 ●●●　〇丁目〇番〇号 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線＊＊＊）	本（国）籍（　　　）
代表者等	種別	1.代表者　②.役員　3.法定代理人	
	氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) ｽﾀｲﾝﾍﾞｯｸ ｼﾞｮﾝ ｱｰﾈｽﾄ （漢字）Jhon　Ernest　Steindeck **漢字を使用する外国人（中国人等）は氏・名の順** **漢字を使用しない外国人（欧米人等）はファーストネーム・ミドルネーム・ラストネームの順、ふりがなは、ラストネーム・ファーストネーム・ミドルネームの順で記載する。**	
	生年月日	西暦 ⓪　明治 1　大正 2　昭和 3　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日　**←　外国籍を有する方は西暦で記載する。**	
	住所	**東京**　[✓ 都]道府県　**港**　市[✓ 区]町村 ●●●　〇丁目〇番〇号 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線＊＊＊）	本（国）籍（　　　）

記載要領

1　最上段及び太枠右側の細枠内には記載しないこと。

2　数字を付した欄は、該当する数字を〇で囲むこと。

【記載例～古物商新規許可申請（法人）】

別記様式第１号その１（第１条の３関係）**【主たる営業所】**　　（　／　）

資料区分	１２		受理年月日	5.令和	年	月	日
受理警察署		（　署）	許可の種類	1.古物商　2.古物市場主			
許可証番号			許可年月日	5.令和	年	月	日
所轄警察署		（　署）					
営業所等所在都道府県			営業所等整理番号				

主たる営業所・古物市場	形態		[✓ 1.営業所あり]　2.営業所なし　3.古物市場
	名称		（フリガナ）サカ゛　サカ゛シテン （漢字）　**株式会社佐賀　佐賀支店**
	所在地		（住所又は居所と同じ場合は、記載を要しない。） **佐賀**　都道府[✓ 県]　**佐賀**　[✓ 市]区町村 **●●●**　〇丁目〇番〇号　　**取扱いに応じて〇を付す** ↓ 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊　）
	取り扱う古物の区分		01 美術品類　02 衣類　03 時計・宝飾品類　[✓ 04] 自動車　05 自動二輪車・原付 06 自転車類　07 写真機類　08 事務機器類　[✓ 09] 機械工具類　[✓ 10] 道具類 11 皮革・ゴム製品類　12 書籍　13 金券類
	管理者	氏名	（フリガナ）カンサ゛キ　シ゛ロウ （漢字）　**神埼　次郎**
		生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　[✓ 昭和 3]　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日
		住所	**佐賀**　都道府県　**神埼**　[✓ 市]区町村 **●●●**　〇丁目〇番〇号 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊　）

管理者は必ず記載して下さい

本（国）籍（　）

記載要領

1　最上段及び太枠右側の細枠内には記載しないこと。

2　数字を付した欄は、該当する数字を〇で囲むこと。

【記載例～古物商新規許可申請（法人）】

別記様式第１号その２（第１条の３関係）　**【その他の営業所】**　（　／　）

資料区分	１３	受理年月日	5.令和　年　月　日
受理警察署	（　署）	許可の種類	1.古物商　2.古物市場主
許可証番号		許可年月日	5.令和　年　月　日
所轄警察署	（　署）		
営業所等所在都道府県		営業所等整理番号	

その他の営業所・古物市場	形態		[✓ 1.営業所あり]　2.営業所なし　3.古物市場
	名称		（ﾌﾘｶﾞﾅ）ｻｶﾞｵｷﾞｼﾃﾝ （漢字）**株式会社佐賀　小城支店**
	所在地		（住所又は居所と同じ場合は、記載を要しない。） **佐賀** 都道府[✓県]　**小城** [✓市]区町村 **●●●　○丁目○番○号**　　**取扱いに応じて○を付す ↓** 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊　）
	取り扱う古物の区分		01 美術品類　02 衣類　03 時計・宝飾品類　[✓ 04] 自動車　[✓ 05] 自動二輪車・原付 06 自転車類　07 写真機類　08 事務機器類　[✓ 09] 機械工具類　[✓ 10] 道具類 11 皮革・ゴム製品類　12 書籍　13 金券類
	管理者	氏名	（ﾌﾘｶﾞﾅ）ｵｷﾞ ｺﾞﾛｳ （漢字）**小城　五郎**
		生年月日	西暦 0　明治 1　大正 2　昭和 [✓ 3]　平成 4　令和 5　＊＊年＊＊月＊＊日　　**管理者は必ず記載して下さい**
		住所	**佐賀** 都道府[✓県]　**小城** [✓市]区町村 **●●●　○丁目○番○号** 電話（＊＊）＊＊＊＊－＊＊＊＊番（内線　＊＊＊　） 本（国）籍（　）

記載要領

1　最上段及び太枠右側の細枠内には記載しないこと。

2　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。

【記載例～古物商新規許可申請（法人)】

別記様式第１号その４（第１条の３関係）　**【インターネットホームページを用いる場合】**

電気通信回線に接続して行う自動公衆送信により公衆の閲覧に供する方法を用いるかどうかの別	①．用いる　2．用いない												
送信元識別符号													
h	t	t	p	:	/	/	w	w	w	.	a	~	_
ｴｲﾁ	ﾃｨｰ	ﾃｨｰ	ﾋﾟｰ	ｺﾛﾝ	ｽﾗｯｼｭ	ｽﾗｯｼｭ	ﾀﾞﾌﾞﾘｭ	ﾀﾞﾌﾞﾘｭ	ﾀﾞﾌﾞﾘｭ	ﾄﾞｯﾄ	ｴｲ	ﾁﾙﾀﾞ	ｱﾝﾀﾞｰﾊﾞｰ

記載要領

1　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。

2　送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。

3　送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。

4　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

【記載例～古物商新規許可申請（法人）】

別記様式第１号その４（第１条の３関係）　**【インターネットホームページを用いない場合】**

電気通信回線に接続して行う自動公衆送信により公衆の閲覧に供する方法を用いるかどうかの別	1.用いる　②.用いない												
送信元識別符号													

記載要領

1　数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
2　送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。
3　送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。
4　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。